

地域密着サービス運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム稗原

日 時：令和 7 年 7 月 30 日(水)

14：00～15：00

場 所：グループホーム稗原 きんもくせいユニットホール

参加予定者：稗原コミュニティーセンター長

市森地区自治協会副会長

稗原地区自治協会会長

稗原地区社会福祉協議会会長

喜楽会会長

出雲市高齢者福祉課課長補佐

グループホーム稗原(管理者)

グループホーム稗原(介護支援専門員)

<議題>

- 1.ご利用者状況
- 2.近況報告
- 3.行事報告
- 4.事故・ヒヤリハット事例報告
- 5.研修・委員会・訓練等
- 6.今後の行事・研修等予定
- 7.その他
- 8.意見交換

<議題>

1.ご利用者状況(令和 7 年 7 月 28 日時点)

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男性	1 名	2 名	2 名	1 名	0 名	6 名
女性	3 名	0 名	3 名	1 名	1 名	8 名
計	4 名	2 名	5 名	2 名	1 名	14 名

平均介護度…2.5

平均年齢 …84.2 歳(77～93 歳)

- ・ 6/9 男性の方(要介護 1)がご入居されました。
- ・ 6/9 女性の方(要介護 3)がご入居されました。
- ・ 6/16 男性の方(要介護 5)がご逝去されました。
- ・ 7/22 女性の方(要介護 4)が腎盂腎炎等のため入院されました。

2.近況報告

現在、2ユニットで14名の方がご入居中です。

日中は1ユニット内にて、一緒に体操やレクリエーションを行いながらお過ごしいただいています。

高温多湿な気候が続いているため、室温管理に注意しつつ、熱中症予防のため水分補給も行っているようにこまめに声かけをいたします。

室内でお過ごしいただく時間が多いので、様々なレクレーションや活動を計画し、皆様が楽しめる時間を設けていきたいと思っています。

3.行事報告

<6月 お菓子作り・誕生会>

6月生まれの方の誕生会とお菓子作りを行い、どら焼きを作りました。

生地を焼く係とあんこを乗せる係に分かれ作業をしました。長年調理をされてきた方、調理経験が少ない方など様々な方がいらっしゃいましたが、笑顔の中で作業を進められました。完成したどら焼きを早く食べたそうにされている皆様が印象的でした。お配りすると、皆様美味しそうに食べられ、ほとんどの方がおかわりをされていました。

皆さんの嬉しそうな笑顔や生き生きとし姿を見ることができ、職員にとっても楽しい時間となりました。

<7月 七夕会・誕生会>

笹に願い事や飾り付けを行い、七夕会を行いました。願い事には「お金がたまりますように」「健康でありますように」「オーケストラでうたをうたいます」「グループホームの美味しいものを食べて長生きでありますように」「ごはんが美味しく食べられますように」など、皆様個性溢れる内容となりました。

その後、七夕の歌をうたい、幼少期の思い出などを皆さんと一緒に話ししました。

7月生まれの方の誕生会も行い、誕生者の方にどのようなお祝いが嬉しいか尋ねると「沢山お酒が飲みたい」と仰られました。毎晩晩酌をされていますが、誕生日当日はいつもより多めの晩酌をお出しし、とても喜ばれていました。

4.事故・ヒヤリハット事例報告

○事故報告

・事例①75歳 女性 要介護1→**3**

(内容)

日中、ホールのテーブル席に座っていらっしゃったが、後ろを振り返ったり床の方を気にされる素振りをされていた。その後、もぐもぐと何かを噛むような動作をされていたため、口腔内を確認すると、綿埃とナイロンの一部と思われるものを嚙んでいらっしゃるのを発見する。

(対処)

すぐに吐き出していただき、うがいをしていただく。再度口腔内を確認し、何も残っていないことを確認する。バイタル(体温、血圧、脈拍、酸素飽和濃度)測定を行う。

(原因)

認知機能の低下が顕著なため、食べ物とそうでないものの区別がつかなくなっていられるため。

(ご利用者様の状況)

飲み込まれてはいなかったよう。その後もお変わりなく過ごされる。

(再発防止に向けて)

- ・見守りを強化する。
- ・作業等に集中することも難しい状況ではいらっしゃるが、職員の見守りのもと一緒にタオルを畳んだりモップ掛けなど軽作業をしていただく。

・事例②86歳 女性 要介護3

(内容)

昼食後、気持ちが落ち着かずにソワソワとされている。歩行が不安定な状態でいらっしゃるため、一度椅子に座っていただく。職員が離れた直後にドンッと音がし振り返ると、左側を下にして倒れておられる。

(対処)

体を起こし、痛みの確認、外傷の確認を行う。左肩甲骨下、腰部の痛みの訴えあり。外傷なし。その後椅子に座り直していただきバイタル測定(体温、血圧、脈拍、酸素飽和濃度)実施。

(原因)

- ・毎日のように昼食後は落ち着きがなくなりソワソワと施設内を歩いていらしゃった。最近では歩行の不安定さも強くなっていたため、椅子から立ち上がろうとされた際、バランスを崩されたと思われる。
- ・ご本人様が椅子に座られた後、職員は他ご利用者様の介助をするため目を離していた。

(ご利用者様の状況)

数時間後には痛みの訴えもなくなり、平時とお変わりなく過ごされる。

(再発防止に向けて)

- ・落ち着かれないご様子の時には、職員が目を離さないようにする。体を支えようとする拒まれることもあるため、すぐに手が伸ばせる範囲で付き添いを行う。
- ・ご本人様の状態に応じて、車椅子の使用を行う。

・事例③86歳 女性 要介護3

(内容)

早朝にドスンと音がしたため訪室すると、ベッドサイドにあるセンサーマットが少し移動して畳んでありその上に座り込んでいらっしゃる。

(対処)

職員が体を起こし、痛みの確認、外傷の確認を行う。いずれもなし。バイタル測定(体温、血圧、脈拍、酸素飽和濃度)実施。

(原因)

- ・覚醒後ご自分で移動しようとして、ベッドサイドのセンサーマットを構われてバランスを崩された可能性あり。

(ご利用者様の状況)

お変わりなく過ごされる。

(再発防止に向けて)

- ・こまめに様子確認を行う。
- ・ご本人様が畳んでいらっしゃったためかセンサー音がなかったため、常にセンサーマットの位置確認を行う。

・事例④93歳 女性 要介護3

(内容)

早朝に何度も覚醒されており、廊下に出られたり居室内を伝い歩きで移動されていた。他ご利用者様の介助も重なり常時付き添うことはできなかったが、都度ご様子はいかがだったか。起床時間になり声をかけると、歩き出し直後に腰痛の訴え、数歩進んだところで吐き気の訴えをされる。前かがみになっていただくが嘔吐はなく生唾のみ出される。腰痛が強く歩行困難なため、再度休んでいただき身体の確認を行うと、左腰部の上方に擦ったような表皮剥離の力所を発見する。新しい傷だったため、覚醒後に転倒されたと思われる。

(対処)

左腰部上方以外の外傷、痛みの確認を行う。新たな外傷は見当たらず。バイタル測定(体温、血圧、脈拍、酸素飽和濃度)実施。暫く休まれたあと再度歩行しようとされたが、左股関節の強い痛みを訴えられる。歩行困難の状態だったため、車椅子を使用する。

(原因)

今年4月に居室内で転倒され、右股関節頸部骨折をされている。手術を終え帰設されたが、歩行時に股関節の痛みがあり、一人での歩行は困難な状態。しかし、それを忘れてしまわれるため、お一人で移動しようとされる。早朝に覚醒された際もご自分で何度も移動され、そのうちのどこかで転倒されたと思われる。

(ご利用者様の状況)

吐き気はなくなったが、歩行時に左股関節の強い痛みがあり歩行困難な状態が続く。適時主治医に報告していたが、半日経過しても痛みが継続していたため、県中救急外来を受診される。検査の結果、骨折等なく同日中に帰設される。

(再発防止に向けて)

会話はできるが、数秒前の会話も忘れてしまわれる。そのため、骨折されたこと、手術されたことも覚えていらっしゃらない。これまでの生活歴により、何事もご自分でしようとされる習慣がありすぐに移動されるため、見守りを強化する。

○ヒヤリハット

・事例①86歳 女性 要介護3

(内容)

ソファから立ち上がり数歩進んだところでふらつかれる。見守っていた職員が体を支え転倒を防ぐ。

(対策)

歩行時の付き添い・見守りを行う。

・事例②79歳 男性 要介護2

(内容)

浴室で音がしたため見に行くと、ご本人様が着替えようとされているのを発見する。

(対策)

浴室には施錠を行っていたがお一人で入られたよう。再度施錠の徹底と今後は2カ所の施錠を行う。

5. 研修・委員会・訓練等

○研修

- ・6月に事故発生又は再発防止に関する研修を行いました。重大な事故・災害の発生前には29件の軽微な事故・災害、300件のヒヤリハットがあるとされているハインリッヒの法則や、事故の内容ごとに発生時の対応を再確認しました。また、ヒヤリハットや職員間の情報共有により、リスクを予見し、“万が一”や“念の為”の対応を心がけて行動することで、事故の予防に繋がっていくことを話し合いました。
- ・7月に非常災害時の対応に関する研修を行いました。事前の準備や、災害発生時の役割分担を確認し、定期的な訓練を行うことで災害時に備えておくことの重要性を話し合いました。

○委員会

- ・7月に感染症対策委員会を開催しました。高温多湿な毎日が続く、県からも食中毒注意報が頻繁には発令されていること、食中毒となり得る菌を付けない・増やさない・やっつけるというスローガンを守り、予防していくことを協議しました。また、ご利用者様の感染症予防も継続的にを行い、手洗い・消毒・口腔内の清潔等を保つことを重視し、対応していくことを話し合いました。

6. 今後の行事・研修等予定

○行事予定

8月： 夏祭り

9月： 敬老会、誕生会

○研修・委員会等予定

8月：感染症・食中毒の予防及び蔓延の防止に関する研修

9月：身体拘束の排除に関する研修

7.その他

○6月27日 JA 女性部の皆様よりタオルをご寄贈いただきました。

8.意見交換

○今回の事故やヒヤリハット報告で、要介護3の方が多いようですが、要介護3となられた理由は認知症の症状ですか。身体的な症状ですか。

→どちらの場合もあります。認知症の症状が強い方でも身体的にはお元気な方だったり、身体的な介助が多く必要な方もいらっしゃいます。

・今回の報告で、86歳の女性の方は同じ方ですか。

→はい、同じ方です。

○75歳女性の方は、要介護1でいらっしゃるのに食べ物でないものを口にされるのですか。

→要介護1ではなく3でした。大変失礼しました。

○7/21地域の祭りでしたが、じんじ花は見に出られましたか。

→同日に近隣での開催があり、消防車が複数来ていました。どこで起きた火災かを確認することを行っており、その間に施設の前を通られていたようです。窓からでしたが皆さんと一緒に拝見しました。

○ご利用者の皆様の健康状態にお変わりはありませんか。

→水分補給が困難な方が複数名いらっしゃいます。お茶だけでなく、ご本人様が飲みやすいものをお出ししてできるだけ摂取していただけるように努めています。

・高齢になるとトイレなどを気にして水分摂取を控える人が多いようです。

○認知所の症状などは、年齢が関係していますか。

→概ね80代の方が多いと思いますが個人差はあります。70代の方で身体はお元気でも意思疎通が困難なご状態の方や、90代の方でも比較的軽度の認知症症状でいらっしゃる方などがいらっしゃいます。

・認知症は遺伝しますか。

→遺伝もあるかと思いますが、生活習慣なども影響を与えるようです。

○現在畑作りなどをやっていますか。

→残念ながら出来ていません。以前は畑や草取りなどを一緒に行っていたいていました。一度やり始めると気になってしまわれ際限なくしようとされる方や、体勢が辛くなられる方が多くいらっしゃいます。

○ご自分でスマホを持っていいらっしゃるご利用者はいらっしゃいますか。

→スマホの方はいらっしゃいません。携帯電話を持っていらっしゃる方はいらっしゃいます。携帯電話をお持ちの方は複数いらっしゃいましたが、徐々に使い方がわからなくなったり知らない番号へかけたりされることが見られたため、ご家族様へ返却しました。

○ご自身でお金の管理を持っていらっしゃいますか。

→いいえ。グループホームにはお持ちいただいていません。ほとんどの方がご家族様管理となっています。

・外出はありますか。

→お金を使用する場面のある外出は、現在ご家族様との外出時のみです。

・7/22 に入院された方は、現在も入院中ですか。

→はい、入院中でいらっしゃいます。腎盂腎炎のみでなく、糖尿病の悪化なども併発されていました。

○ご利用者の中で稗原地区の方は何名いらっしゃいますか。

→14 名中 1 名です。

○入浴の頻度はどれくらいですか。

→週 2 回で予定しています。

○現在晴天が続き、水不足が懸念されています。市の上下水道局み現時点で飲用水はまだ大丈夫のようですが、農業用水が 39%まで制限されています。

・稗原地区は、元々水が少ない地域だったため、早い段階から水道整備を市にお願いし整えていただいた経緯があります。稗原ダムも建設時には反対される意見もあったが、今はダムがあるおかげで賄えている部分が多くあります。

→水道整備の話など、初めてそのような話を伺いました。

○猛暑の日が続いていますが、空調管理は常時されていますか。

→はい、行っています。但し寒がられる方が多く、暑さに鈍くなられている方が多くいらっしゃいます。逆に寒さには敏感でいらっしゃる印象です。

・確かにそうですね。

・高齢になり代謝機能が低下しているからかもしれませんね。

○ご利用者同士の交流はありますか。

→ほとんどの皆様がホールに出ていらっしゃいます。

・ご利用者同士で会話などをされますか。

→される方もいらっしゃいますが、多くの方がお一人の時間をお過ごしになられています。

・一緒にはいらっしゃるが、個々でいらっしゃるようなご様子ですね。

→仰る通りです。

以上

地域密着サービス運営推進会議 出欠票

開催日時 : 令和7年7月30日(水) 14:00~15:00

場所 : グループホーム稗原 きんもくせいユニットホール

議題: 1.ご利用者状況

2.近況報告

3.行事報告

4.事故・ヒヤリハット事例報告

5.研修・委員会・訓練等

6.今後の行事・研修等予定

7.その他

8.意見交換

令和7年7月30日(水)開催 運営推進会議参加者

		出欠	備考
稗原コミュニティセンター長	様	○	
市森自治協会副会長	様	○	
稗原地区社会福祉協議会会長	様	○	
喜楽会会長	様	○	
稗原地区自治協会会長	様	○	
出雲市役所高齢者福祉課課長補佐	様	○	
グループホーム稗原職員	(代表取締役)	欠	
	(管理者)	○	
	(介護支援専門員)	○	